

短歌 全16首

変声期に入る放送もうれしかり災禍無き町歳晩となる
 爺さんが初孫抱いてお正月喜びかさね幸わせ祈る
 井戸を堀る医師に銃弾なせ放つ君がためへのこれが報いか
 長のつく入賞札を添へられし菊花はそれぞれの趣を持つ
 名優の巧みな演技二十二年振りの新作寅さんに見る
 初日の出ひかり普し野に山に未来永劫令和の年も
 錆色の紫陽花二つ揺れおりし夕日をあびて歳来るを待つ
 スマホしか知らないはずの小さき客受話器を取りてもしもちーもしもちー
 今年こそ会いたいと書く年賀状友も同様添え書きにあり
 「金属光沢だ」おさい銭キラッと飛んで独り理科の復習
 元旦の空に三ヶ月光りいて家族の無事を願いて拝む
 吉野氏のノウベル受賞暗き世を明るくさせるリチウム電池
 組板のごぼうの匂ひ残れるを拭いつ、聞く除夜の鐘の音
 新しき暦は重き日々載せて明日へと続く道の如くに
 去年今年ごまめ数の子味付けて重箱詰めて除夜の鐘
 雪の朝今日は聖夜だキャンプ場焚火でほっこりお湯割スコッチ

三沢 眞下 杏子
 皆野 関根 助市
 三沢 石原 達也
 皆野 新井 叶子
 三沢 打木 昭廣
 皆野 根岸 詩子
 国神 藤原マキ子
 皆野 引間 万亀
 下日野沢 浅見 豊子
 皆野中一年 太幡琉美花
 下日野沢 新井 節子
 上日野沢 四方田利男
 三沢 鈴木 貞恵
 三沢 新井 民子
 皆野 村田ハツ代
 皆野 戸塚喜久雄

根岸茉莉選 投稿数16句

荒川の水面に流る冬の月
 (評冬の月は青白く神秘的な光を放ちながら澄み切った空を移ろいます。川幅も狭くなった荒川を見下すと、川面に写った月がきらきら揺れ、流れに身をまかせている様に思えたのでしよう。牙々とした美しい光景が目につくかお良句だと思えます。二句目、一年で最も日の短かい冬至。忙しい一日が終り、お風呂にゆつたりと浸かりぼかぼか浮いている柚子の香りに身も心も癒されて明日からの年の迎の仕度にファイトが湧いて来る作者です。いつまでもお元気で!!三句目、メッセージ付きの温かいお年玉は誰からでしょう?今年も良い事が沢山あるように、目標に向かって頑張りましょう。)

老いし身に明日へのちから冬至の湯
 御飾りし客待つ部屋の静けさや
 皆野 村田ハツ代

頑張れのメッセージ在り御年玉
 初空や令和二年の深呼吸
 皆野 引間 千鶴

冬日向父の遺せし駒磨く
 稜線の神々しさや初日の出
 下日野沢 浅見 豊子

荒北風や杉葉だらけの村の道
 山々に射しわたりたる初日かな
 国神 藤原マキ子


上日野沢 四方田利男
 静けさに段雷響くお元日
 下日野 新井 節子

幸寿なる日々も健やか春立ちぬ
 皆野 根岸 詩子

俳句・短歌を募集
 作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して
 みらい創造課までお寄せください。
 1人1句、1首に限ります。

3日必着

1歳になる赤ちゃんを募集しています



ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までにみらい創造課窓口(写真をご持参ください)または、町ホームページからお申し込みください。

3月号の締め切りは、2月10日(月)まで。
 問合せ みらい創造課 ☎26-7334

今月の題字

国神小2年
 清水 愛菜さん



児童の見守り放送

国神小6年
 黒澤 涼華さん

